

## 2年 体育科学習指導案

門真市立北巢本小学校  
指導者 高橋 美樹子

- ①実施日時 令和6年 11月20日(水)
- ②学年・組 2年1組 20名
- ③単元名 運動あそび「アニマルクエスト」  
～自分で考えたことを表現しよう～

### ④単元の目標

- ・自分が表現したい動物に応じて固定施設や器具・器械を物に見立てて工夫したり、選択したりできるようになる。
- ・動物の動きをじっくり観察・鑑賞し、動きを工夫して、表現する。
- ・ICTを活用し、自分の活動を振り返ることができる。

### ⑤評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○運動遊びの行い方を知っていると、その動きを身に付けている。</p> <p>・固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをしている。</p> <p>・マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をしている。</p> <p>・跳び箱を使った運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをしている。</p>	<p>○それぞれの動物の動きに合わせた器械・器具を用い、動きを工夫し、表現している。</p>	<p>○運動遊びに進んで取り組もうとし、場や器械・器具などを安全に気を付けて活動している。</p> <p>○動物の動きに興味・関心をもつ。</p>

### ⑥児童観

- ・体育の授業では準備体操の際、スキップ・片足跳び・アザラン・手押し車などを昨年度から取り入れ、さまざまな動きが出来るよう練習し、当初は苦手な子もいたが殆どの児童が出来るようになった。
- ・1学期はマット遊びを行った。グループで動きを決め動画を撮影し、客観的に自分達の姿を振り返る機会を設けた。また、教科に関わらずクロームブックを使って動画撮影をし、自分たちの姿を確認することが日常の中でもよく見られる。
- ・学習の振り返りでは、自分ができるようになった跳び方を動画で提出したり、スプレッドシートを使って今日の活動を振り返ることができる。
- ・インターネットを使って、情報収集をすることができるが、収集した情報の中で、必要な情報を取捨選択したり、得られた結果から分析する力はまだまだ乏しい。

### ⑦教材観

- ・国語では動物を扱う教材に取り組み、遠足では動物園に行き様々な動物について知る機会があった。そのため子どもたちにとってより身近な題材として、動物になりきる課題を設定した。探求するた

の資料として、動物園で撮影した動画やインターネット動画をクラスルームで共有し活用している。  
 ・子ども自身がさらに工夫したり表現に生かせるように、固定施設や様々な器械・器具を用意した。

⑧指導観

・めあてや振り返りにおいて、ICTを効果的に使いどんな工夫をしたのかが、共有できるようにする。  
 ・安全面については、マット運動での経験をもとに、子ども主体でルールなどを考える。

⑨単元指導計画(全八時間)

次	時	子どもの学習活動	指導上の留意点	主な評価規準	研究との関わり
第一 次	第一 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の進め方や約束を知る。</li> <li>・安全にとりくむルールを考える。</li> <li>・体や体育館全体を使って、動物の動きを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の見通しをもたせるために、単元でつける力を明確にする。</li> <li>・学習の意欲を高め、主体的な学びとなるように、学習計画を立て、達成目標を考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を使って動物の動きを表現しようとしている。(思考・判断・表現)</li> <li>・あらゆる動物の動き方に興味を持つ。(関心・意欲・態度)</li> </ul>	<p>【課題設定】          単元全体の見通しをもつとともに、達成目標を考えることで、探究的に学べるように留意する。</p>

	第二・三時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全のためのルールや活動場所を確認する。</li> <li>・自分が表現したい動物を複数選び、運動遊びをする。</li> <li>・自分がより表現を深めたい動物を1つに選び、次の学習につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に活動できるように場の設定を工夫する。</li> <li>・動きを制限せず、固定施設や器械・器具で遊ぶことを確認する。</li> <li>・どのように動物を表現することができるかを考えるための活動時間を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の動きに興味を持ち、中でもより動きに注目して活動しようとしている 【関心・意欲・態度】</li> <li>・固定施設や器械・器具を使って、それぞれの動物の動きの特徴を表す 【知識・技能】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題・めあて】学習の個性化、共有 (スプレッドシート)</li> <li>【情報収集】ツールとしてのICTの活用 (カメラ機能)</li> </ul>
第二次	第四時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が選んだ動物の動きを調べ、特徴を動きに取り入れる運動遊びをする。</li> <li>・動画検索機能を使って、自分自身の動きと比べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで、動物の動きを複数共有し、自分自身の動きと見比べられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の動きを確認し、より動物に近い動きを身に付けている。 【知識・技能】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題・めあて】学習の個性化、共有 (スプレッドシート)</li> <li>【情報収集】ツールとしてのICTの活用 (カメラ機能、インターネット検索・動画)</li> </ul>
	第五時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの動画や動物園で撮影した動きを確認して、新たに表現の一つとしてとり入れる。</li> <li>・動物の動きを確認したり、以前の自分の動きを比べたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに遠足で撮影した動画をクラスルームで共有し、自分自身の動きと比べ、活動に活かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つの動物に注目して、その動物の様々な動きに興味を持つ。 【関心・意欲・態度】</li> <li>動きの表現に合う、固定施設、器械・器具を選んでいる。 【思考・判断・表現】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題・めあて】学習の個性化、共有 (スプレッドシート)</li> <li>【情報収集】ツールとしてのICTの活用 (カメラ機能、インターネット検索・動画)</li> </ul>

	第六時 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の動きを見直し、工夫する。</li> <li>・動画撮影機能を使って、自分の動きを振り返る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプレッドシートに記入した前時の「めあて」や「振り返り」から、自己の課題を見つけ、本時の「めあて」の設定にいかすように指導する。</li> <li>・動画(遠足、インターネット)をドライブで共有し、いつでも観て、表現活動にいかすことができるようにする。</li> <li>・動画を撮影して、自らの動きを見直すことができるように、個別の指導や支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の動きを動画を使って見直し、選んだ動物の動きを工夫して、表現している。(思考・判断・表現)</li> </ul>	<p>【課題・めあて】 学習の個性化、共有 (スプレッドシート)</p> <p>【情報収集】 ツールとしてのICTの活用 (カメラ機能)</p>
第三次	第七時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ動物の動きを保護者に向けて発表する。</li> <li>・保護者からのアドバイスを受け、さらに動きを工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに撮影した動画を使って動きを振り返り、発表にいかすことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの活動を活かして、動物の動きを身に付けている。(知識・技能)</li> </ul>	<p>【課題・めあて】 学習の個性化、共有 (スプレッドシート)</p>
	第八時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ動物の動きを一年生に向けて発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の発表と振り返りを確認し、一年生に向けての発表にいかすことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイスを活かしたり、友だちの発表を見て、より動物らしい動きを身に付けている。(知識・技能)</li> </ul>	<p>【課題・めあて】 学習の個性化、共有 (スプレッドシート)</p>

⑩本時

(1)本時の目標

- ・自ら「めあて」を設定して、運動遊びに取り組む。
- ・動画撮影機能を活用して、自らの動きを見直し、工夫して表現する。

(2)本時の評価規準

固定施設や器械・器具を使って、動物の動きを工夫して表現している。  
【思考・判断・表現】

(3)本時の判断基準

おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)への支援
・自分自身の動きを動画を使って見直し、選んだ動物の動きを工夫して表現している。	・表現が単調な児童には、動画撮影機能や動物の動画を活用して、工夫して表現できるように支援する。

(4)本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準	研究との関わり
<p>①学習課題を確認して、本時の「めあて」をスプレッドシートに記入する。</p> <p>②自らの動きを見直し、工夫して表現する。</p> <p>③ふり返り</p>	<p>スプレッドシートに記入した前時の「めあて」や「ふり返り」から、自己の課題を見つけ、本時の「めあて」の設定にいかすように指導する。</p> <p>動画(遠足、インターネット)をドライブで共有し、いつでも観て、表現活動にいかすことができるようにする。動画を撮影して、自らの動きを見直すことができるように、個別の指導や支援を行う。</p> <p>時間短縮のため「よくできた」「できた」等を選べるように項目を設定する。内容については発表で聞き取る。</p>	<p>自分自身の動きを動画を使って見直し、選んだ動物の動きをくふうして表現している。 (思考・判断・表現)</p>	<p>スプレッドシートを活用することで、情報を共有する。</p> <p>動画の活用(遠足、インターネット) 動画撮影機能</p> <p>スプレッドシートの活用</p>